

*** 事 ***

例会記録

九月例会 平成十五年九月二十七日(土)

鶴見大学歯学部三号館二階 三一四講堂

一、西南戦役と神奈川県下の官修墓地

中西淳朗、松本龍二

一、漢方製剤の医史学補遺

菊谷 豊彦

一、コレラに対する禁忌食品の時代的変遷

佐分利保雄

一、『ベスト残影』発行後の後日談

滝上 正

十月例会 平成十五年十月二十五日(土)

順天堂大学医学部九号館二階八番教室

一、本間玄調(棗軒)について

荒井 保男

一、中神琴溪引書攷

館野 正美

十一月例会 平成十五年十一月二十二日(土)

順天堂大学医学部九号館二階八番教室

一、九州大学医学部所蔵 人体解剖模型について・統報

——その製作場所・製作者について

月澤美代子

一、呉秀三・樫田五郎『精神病患者私宅監置ノ實況及ビ其統計的觀察』精読

橋本 明

例会抄録

医学館における医学考試について

戸 出 一 郎

寛政六年(一七九四年)、医学館において医学の考試が実施された。その記録が、「寛政甲寅考試書類」と題して京都大学医学部図書館富士川文庫に現存する。

「寛政甲寅考試書類」は「寛政甲寅考試口問主意書」(以下「口問主意書」)、「寛政甲寅考試問答一件調書」(以下「問答一件調書」)、「寛政甲寅考試医案方付留記」(以下「医案方付留記」)の三部に分かれている。

考試を受けるよう求められた者は、寄合・小普請の若い官医の子弟達であった。大田南畝の「街談録」によれば、寛政六年の受験者は医学館への出席が悪かった者達であるという。

試験科目は本科・小兒科・外科・口科に分かれ、受験生は